

第14回 神奈川県移動性（モビリティ）向上委員会 議事要旨

1. 日時：平成26年8月28日（木）10：00～11：00

2. 場所：横浜第二合同庁舎 共用第4会議室

3. 議事：

（1）議題1：対策の実施状況について

- 事務局より対策の実施状況および圏央道等の開通による効果を報告した。
- 相武国道事務所より圏央道 相模原愛川 IC～高尾山 IC の開通 1 か月後の整備効果について説明があった。
- 神奈川県観光協会より NEXCO 中日本・東日本、神奈川県、神奈川県観光協会が共同で作成した交通マップの紹介があった。

【意見】

- これまで、神奈川県内から車で北関東に行くイメージはあまりなかったが、圏央道開通により行きやすくなった。また、群馬県から湘南に訪れる際、圏央道を利用することで都心を回避でき、往復の行程で2時間から3時間減少した。（神奈川県観光協会）
- 路線バス事業者からは、圏央道の開通で国道129号橋本～厚木の定時性が向上した、との声があった。また、現状で長距離バスを運行していないが、今後圏央道を活用してツアーを検討したい、という声もあった。（神奈川県バス協会）

【質疑】

Q1 圏央道開通効果で、経済面では企業立地が進んだ、との報告も頂いた。ただし、東名高速に比べて倍程度の料金と感じており、経済効果が十分に発生しないのではないかと懸念している。（神奈川県商工会議所連合会）、（神奈川県トラック協会）

A1 圏央道はターミナルチャージがないため、短距離ではむしろ安く、圏央道特別割引もあり、概ね大都市部の高速道路と同水準かそれ以下。さらに、大都市の迂回など、賢く使ってもらえるよう、大都市圏のシームレスな料金体系を本省で勉強しているところ。（相武国道事務所）

Q2 海老名 JCT で渋滞が発生していると聞くがその対策は。

保土ヶ谷バイパスの慢性的な渋滞解消のためには、横浜環状南線、横浜湘南道路、横浜環状北線、横浜環状北西線などの高速ネットワークの早期完成が必要、これらの完成見込みは。（神奈川県トラック協会）

A2-1 相模原愛川 IC～高尾山 IC 開通から2ヶ月が経ち、お客様の声をたくさん頂いていることは事実。今後、寒川北 IC まで伸びさらに新東名が開通すれば、海老名 JCT の交通は分散する見込み。

海老名 JCT での合流部の延伸、区画線の見直しなど警察と協議を進めている。時間が係るかもしれないが、気持ちよく走って頂くよう、取り組みたい。（中日本高速道路）

A2-2 横浜環状南線、横浜湘南道路は H32 年度開通を目標に整備を進めている。昨日、土地収用法に基づく事業認定申請の手続きを行っており、用地買収出来た箇所についてはトンネル等の工事に着手する段階。

横浜環状北線が H28 年度、横浜環状北西線が H33 年度の開通を目標にしている。これらが開通すれば、保土ヶ谷バイパスの交通の分散につながると考えている。（横浜国道事務所）

(2) 議題2：主要渋滞箇所のモニタリング結果

- 事務局より主要渋滞箇所のモニタリング結果を報告した。

(3) 議題3：優先的に要因分析を行う箇所の考え方について

- 事務局より優先的に要因分析を行う箇所の考え方を報告した。

【質疑】

Q1 資料中で「休日のみ渋滞している箇所は特異な状況であるため」と記載があるが、観光地での渋滞も発生している。場所によっては切り捨ててはいけないところもあると思う。(委員長)

A1 今後検討を進める際には留意したい。(事務局)

Q2 考え方は賛成であるが、どのタイミングで検証や現地診断を行うべきか、判断が難しい。今後、保土ヶ谷バイパスの延伸、圏央道の茅ヶ崎方向の延伸、横浜湘南道路・横浜環状南線など、交通流の大きい変化が予想。検証や現地診断のタイミングは、道路管理者が個々に判断していくものなのか。また、優先的に検討すべき指標も、各道路管理者の判断で良いのか。(相模原市)

A2-1 県内に様々な道路事業がありどこで判断するかは、一律には決めにくい。1点目、2点目いずれについても、各道路管理者の独自判断が基準になってくるかと思う。(事務局)

A2-2 整備を進めていく中で道路交通の流れは変化をしていく。この委員会の場で交通状況の変化を共有し、必要があれば調査をかけていくという体制を整えていければと良いと思う。(委員長)

(4) 議題4：道路をより賢く使う取り組みについて

- 事務局より道路をより賢く使う取り組みについて報告した。

【意見】

- 道路を賢く使う取り組みは、国で色々と議論されているかと思うが、今後も色々と議論いただければと思う。(委員長)

- 「賢く使う」に関して、「賢く使う」の主体はドライバーであるが、本資料は道路管理者が対策を実施することで「賢く使う」という資料になっており、標題のイメージが少し違うような気がする。(神奈川県商工会議所連合会)

(5) 議題5：その他

- 相武国道事務所より中央道渋滞ボトルネック検討WGの開催概要について説明があった。

【意見】

- サグによる速度低下が渋滞を招くなど、周知を続けることが重要。(委員長)

- サグの場所、サグによる渋滞メカニズムについて、ドライバーも知識を持っていれば、渋滞は減少すると思う。(神奈川県商工会議所連合会)

以上